

## 庁議記録

日 時 令和5年4月13日（木）

13：00～13：20

場 所 テレビ会議室

### 【浦本副知事】

ただいまから庁議を開催いたします。本日の議題は、協議事項が2件、報告事項が2件であります。

はじめに、協議事項として「令和5年度重点政策の検討方針（案）」について、総合政策部長から説明をお願いいたします。

### 【総合政策部長】

資料1に基づきまして、重点政策の検討方針などについて説明をいたします。まず、当面の予算事業の検討についてでございますが、資料左側の国の物価対策関連予算につきましては、国の物価高克服に向けた追加策が決定され、交付金の限度額が示されたところでございます。こうした国の動きを踏まえ、道の経済対策推進本部を開催をいたしまして、現在、各部において事業の検討に取り組んでいるところでございます。また、右側の政策予算についてでございますが、今後、この経済対策の検討と並行して、第2回定例会に向けて、令和5年度の重点政策の検討を進めていく必要がございます。このため、本日の庁議におきましては、令和5年度に重点的に取り組む政策の考え方や補正予算編成の方針を決定して、全庁共通した認識のもと政策検討を進めることとしたいと考えてございます。

続きまして、「令和5年度重点政策の検討方針（案）」について説明をいたします。この方針でございますが、令和5年度に重点的に取り組む政策の検討に当たって、基本的な考え方を示すものでございます。まず、この基本的な考え方でございますが、本道を取り巻く環境が大きく変化するなか、道民の暮らしを守るため、道民生活の安定や足腰の強い地域経済の構築に取り組むとともに、エネルギー、デジタル、そして食をはじめとした本道のポテンシャルを最大限に発揮しながら、その価値を押し上げ、北海道の確かな未来を創る取組を進めていく必要がございます。このため、①番の暮らしを守る、それから②番未来を創る、③番地域と進めるという3つの視点、それからその下の4つの留意事項を踏まえて、皆様方には政策の検討を行っていただきたいと考えております。

次のスライドですけれども、視点1つ目の「暮らしを守る」です。これは、道民の暮らしを守っていくために、「やさしく温かい社会づくり」や「命と生活を守る基盤づくり」、「持続可能な一次産業づくり」を進めていただきたいと考えてございます。

その次は、「未来を創る」でございますけれども、これは、北海道の未来を創っていくため、「成長を牽引する産業づくり」、それから「世界に輝く魅力づくり」、それから「未来を担う人づくり」を進めることで、確かな成長を支える価値づくりを推進していきたいと考えてございます。

その次ですけれども、3つ目の視点は、「地域と進める」です。ここでは、地域における様々な課題の解決のために「共に輝く地域づくり」と「チャレンジする道庁づくり」を進めることで、共感と信頼の関係づくりを行っていただきたいと考えてございます。

今後のスケジュールでございますけれども、今後、この方針に基づきまして、各部において具体的な事業を検討いただきまして、知事との議論を深めた上で、6月下旬の第2回定例会に提案する予定としてお

りますので、皆様におかれましては、ご協力をよろしくお願いをいたします。以上でございます。

### 【浦本副知事】

この件について、何かご発言等がありますでしょうか。よろしいですか。それでは、本件につきまして、案のとおり決定をいたします。

それでは、次に2番目の協議事項でございます「令和5年度補正予算編成要領（案）」について、これは総務部長から説明をお願いいたします。

### 【総務部長】

それでは、私のほうから「令和5年度補正予算編成要領（案）」でございますが、第2回定例会に提案することとなります補正予算の編成にあたり、基本的な考え方などについてご説明を申し上げます。

まず、「基本的な考え方」についてでございますが、本年度の道財政は、昨今の物価高騰などによる地域経済への影響が懸念されるなど、より厳しさを増すことが見込まれる状況でございます。また、実質公債費比率の改善をはじめとした財政運営上の課題も残されておりますことから、昨年3月に改訂いたしました行財政運営の基本方針に沿って、財政の健全化に切れ目なく取り組むことと、あわせて知事公約や先ほど総合政策部長から説明のごさしました重点政策の検討方針に基づく優先度の高い施策に、限りのある行財政資源を効果的・効率的に配分をしていくこととしております。

こうした基本認識のもと、予算編成にあたりましては、歳入につきましては、その確保に最大限取り組むとともに、歳出につきましては、歳出の削減・効率化、また民間資金の積極的な活用を図っていただきたいと思っております。

スライド2をお願いいたします。次に「予算編成のポイント」でございますが、まず1つ目といたしまして、施策や事務事業の徹底した精査といった歳出の量的な削減や既存事業の再構築、スクラップ・アンド・ビルドなどの取組を通じた質の一層の向上など、歳出の削減・効率化の取組をお願いいたします。そこで、こうした取組を促進させるため、昨年度に引き続きでございますが、「スクラップ・アンド・ビルド促進枠」の設定によりまして、目標額を上回る削減を行った場合には、要求上限を引き上げるといった取組をしたいと思っております。

また、2つ目でございますが、施策間連携や横断的事業の推進のほか、市町村や民間など多様な主体との連携・協働した事業の構築につきまして、積極的な検討をお願いいたします。これにつきましても、昨年度に引き続き、「民間資金獲得に対するインセンティブ」として新たに獲得した寄付額に応じて、枠配分を上乗せするというのもしておりますので、各部局におかれましては、施策の質の一層の向上に向けて、積極的な検討をお願いいたします。

最後、3番目のスライドでございます。編成日程でございますけれども、本日の庁議終了後、各部に編成要領を通知した後、5月下旬の知事査定まで、予算編成作業を進めていくこととなります。各部局におかれましては、既に様々な作業を行って頂いてございますけれども、今後、作業が本格化していくことに加えまして、国の物価対策関連予算に伴う編成作業も生じてきますことから、引き続き、限られた期間内で事務が円滑に進むよう、ご協力をよろしくお願いいたします。私からは以上でございます。

### 【浦本副知事】

この件につきましても、何かご発言等がございますでしょうか。よろしいですか。それでは、2つ目の協議事項につきましても、案のとおり決定をいたします。

それでは、次に報告事項に移りたいと思います。報告事項2件でございます。はじめに「危機対策」について、危機管理監から説明をお願いいたします。

### 【危機管理監】

新年度を迎えまして、危機対策に関しまして、発言をさせていただきます。資料はございません。今朝も北朝鮮からの弾道ミサイルの発射に伴いまして、Jアラートが起動いたしました。道といたしましては、第2非常配備体制をとり、各振興局や全ての市町村への情報伝達と情報収集にあたっているところでございます。幸い、北海道及びその周辺への落下はなかったものの、北朝鮮の弾道ミサイルは、昨年10月にもJアラートが起動する事態に至っておりますほか、昨年3月、11月、そして今年2月の3度にわたり本道近海のEEZ内に落下したところであり、今後も予断を許さない状況でございます。

また、災害対策について申し上げますと、これからの季節、雪解けによる雪崩に加えまして、河川の増水や土砂災害、空気の乾燥による林野火災、山菜採りやレジャーによる事故などにも注意が必要な状況でございます。

道庁の本格的な人事異動、あるいは組織改正はこれからではございますが、一部の部局や関係機関では新たな体制となっているところもあろうかと思っております。各部局や振興局におきましては、こういった年度の変わり目に改めて、連絡体制や初動対応などの危機管理体制をご確認いただきまして、危機対策について万全を期していただくようお願い申し上げます。以上でございます。

### 【浦本副知事】

次に、2つ目の報告事項でございますが、今週末、開催されます「G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合」に関しまして、総合政策部長から説明をお願いいたします。

### 【総合政策部長】

G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合についてでございますが、今週の15日から16日に、G7メンバー国や招待国・国際機関の代表者ら約200名程度が来日するG7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合が、札幌市で開催をされます。この会合におきましては、脱炭素等を実現するため、GXのグローバルな推進等について議論をされる予定となっております。開催スケジュールでございますけれども、会合前日の14日に地元主催歓迎レセプションを開催いたします。15日から16日に本番となる大臣会合が行われ、これにあわせて札幌ドームにおいて、道民、市民に最先端の環境技術や身近な取組等に触れていただく、「環境広場ほっかいどう2023」を開催することを予定しております。

次に地元における主な取組についてでございますが、開催期間中はレセプションやエクスカージョン等のおもてなし・交流行事を進めるほか、環境広場ほっかいどうの場において、GX実現に向けた宣言文を札幌市とともに発表することとしております。

道といたしましては、本会合の開催を契機に、北海道、札幌市、市町村、国とが一丸となって、ゼロカーボン北海道の実現を加速していきたいと考えておりますので、会合開催まではあとわずかでございますけれども、皆様方の協力をよろしくをお願いいたします。以上でございます。

### 【浦本副知事】

本日の庁議の議題は、以上でありますけれども、他に何かこの機会にご発言等あれば伺いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。それでは、最後に知事からお願いいたします。

## 【鈴木知事】

本日、職員向けのご挨拶にあっても申し上げたところでありますけれども、道民の皆様の命と暮らしを守り抜く、そして北海道の確かな未来をつくっていくために、引き続き、しっかりと皆様とともに、道政運営に当たってまいりたいと考えております。まずは、道民の皆様の命と暮らしを守り抜くために、何よりこのことが重要であります。本日、北朝鮮のICBM級の可能性のある弾道ミサイルの発射への対応、そして、先月から続いて発生をしている高病原性鳥インフルエンザへの対応などに取り組んでいただいているところでありますが、今後とも、様々なリスクから、道民の皆様を守っていくために、改めて危機管理に対する意識を高め、万全の態勢で取り組んでいただきたいと思います。また、喫緊の課題であります物価高騰等への対応についてであります。先日の経済対策推進本部におきまして、必要な対策の検討の指示を行ったところであります。道民の皆様、事業者の方々からの切実な声に耳を傾け、検討を加速をし、中小・小規模事業者への支援、低所得世帯など生活者への支援といった具体的な施策を早急に取りまとめるようお願いをいたします。

そして、令和5年度の重点政策についてであります。私が選挙を通じて皆様にお約束をしておりました政策を前に進めるための予算となるわけであり。本日決定した方針を踏まえて、本道を取り巻く環境の変化に対応しながら、道民の皆様のご理解とご協力のもと進められるよう、チャレンジする意識を持ち、スピード感を持って、具体的な政策、そして効果的にそれを推進するための体制などについて検討するようお願いいたします。

また、予算の検討に当たっては、今後も物価高騰による地域経済への影響が懸念をされるなど、道財政は、より厳しい状況が続くものと見込まれるところであります。事業の徹底した精査を図り、市町村や民間など多様な主体と連携した事業を構築するなど、必要な政策が展開できるよう、幹部の皆さんのそれぞれのリーダーシップを発揮をいただき、歳入・歳出の両面において、様々な手法、工夫による積極的な検討をお願いしたいと思います。

そして、いよいよ明後日からになりますが、G7札幌気候・エネルギー・環境大臣会合が開催をされるわけであり。私もレセプションや環境広場ほっかいどうなどの関連行事に出席をする予定であります。会合の成功はもとより、会合を契機に、ゼロカーボン北海道の取組をさらに加速をさせていく必要がございます。先ほどの重点政策の検討を含めて、今後、環境と経済の好循環の実現に向けて、より一層、積極的な取組を進めてほしいと思います。

本日は、選挙後はじめての庁議となったわけであり。これからは皆さんと一丸となって、北海道が直面する様々な困難に立ち向かっていきたいと考えております。改めて、皆様よろしくお願ひ申し上げます。私からは以上です。

## 【浦本副知事】

関係部局、並びに振興局におきましては、ただいまの知事の指示を踏まえ、対応いただきますようお願い申し上げます。以上で、本日の庁議を終了いたします。